



令和6年度

12月 三大幼だより

江東区立第三大島幼稚園

令和6年11月29日



三大幼 HP は
こちらから



成長の多様な機会を大切に

園長 安田 徳章

11月の穏やかな日に、幼稚園の砂場と土山に新しい砂と土が搬入されました。こどもたちは、トラックの荷台からザザーッと滑り落ちる砂や土を間近で見、その光景に歓声をあげ、トラックが去った後は自分の背を超えるくらいの砂や土の大きな山に登り、お尻やおなかで滑ったり足を膝の上まで埋めたりして、全身でふかふかの感触を楽しみました。「こんなの二年間で初めてだよ!」「今日は、最高の一日だ!」と大喜びのこどもたちでした。

11月の下旬には、年中組のこどもたちが近隣のグループホームを訪問しました。おじいさんおばあさんたちと一緒に歌えるようにと「とんぼのめがね」「どんぐりころころ」を歌い、踊りも披露してきました。そして、笑顔と「ありがとう」の気持ちを交わし合い、お互いに元気をもらう素敵な時間を過ごすことができました。

12月には年長組のこども会があります。これまで、遊びの中で様々な役になってイメージのある遊びを楽しんだり、遊びに必要なものを空き容器や素材を使って試行錯誤しながら作ったりしてきた年長児です。培ってきた様々な力を発揮して、自分たちだけのオリジナルのお話を考えるなど、力を合わせて劇表現として創りあげています。みんなで一緒にひとつのことに向かって取り組む中では、友達と一緒にだからうまくいき喜びや充実感などの心地よい感情とともに、思い通りにならない辛さや悔しさを感じることもあるでしょう。また、どうしたら友達に自分の考えていることが伝わるのか、相手の気持ちも聞きながら活動を進めるためには、自分はどうすればよいのかなど、難しさを感じることもあるでしょう。それら一つ一つがこどもたちの成長にとって大切な経験として蓄えられていきます。

多様な体験を通して一段と成長するこどもたち。さらに、年末年始は、ご家庭や地域で大掃除やおせち作り、たこあげやこままわし、新年のあいさつを交わすことなど、心を弾ませる多様な体験をする機会に恵まれることでしょう。こどもたちが、自分でやってみて、どうするとうまくいか、あるいはなぜ失敗したのか、考えたり感じ取ったりする機会を大切にさせていただきたいと思います。新しい年も、こどもたちの成長を家庭・地域・園のみんなで支えていきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

※砂と土の搬入の様子はこちらからご覧いただけます。



今月の指導のポイント



年中りんご組

教師や友達と一緒に、しっぽとりや砂場、製作などの遊びに興味をもち、自分なりに“やってみよう”と、繰り返して楽しむようになっています。一緒に遊んでいる友達に、自分の思いを動きや言葉で表現し、伝えようとする姿が増えています。一方、言葉が足りなかつたり、相手の思いが伝わらないことも多いです。自分での思いを十分に伝えたいという気持ちで、言葉で伝えようとする姿も増えています。

今月から温飯器の使用が始まります。約束事を知り、安全に使えるようにしていきます。同時に寒い時もポケットに手を入れないなど冬の生活の仕方にも気付いていけるようになります。冬休み前には、一年が終わることを知り、自分たちが使った保育室や砂場の遊具などの大掃除をし、気持ちよく新年を迎えられるようにしていきます。

年長にし組

徐々に寒さが増してきました。こどもたちは、好きな遊びの中で縄跳びをして、自分の得意な跳び方の他に、友達の跳び方に刺激を受けて真似ている姿があります。今後はチャレンジカードなどでさらに挑戦する気持ちがもてるようにしていきます。また年中児と一緒にしっぽ取りをする中で、ルールを教えようとする姿があります。今まで自分たちが楽しく遊んだことを年中児にも伝えたい、一緒に楽しく遊びたいという気持ちで、優しく教えています。今後は、様々な場面で年中児への引継ぎが行われていきます。

こども会に向けて自分の役になりきって演じたり、必要なものを考えて友達と協力して作り上げたりしています。友達と互いに思いを伝え合いながら友達のよさにも気づき、学級としてこども会を進めていけるようにしていきます。

年末に向かって、おたのしみ会を楽しみにしたり、大掃除をする必要性に気付かせたりしながら、新しい年を迎えることを知らせていきます。